



東高

# 国際だより

平成28年11月10日  
京都府立東舞鶴高等学校  
国際教育部発行

2016 No.7

## ☆3年3組国際文化コースで10月19日に収穫祭をしました☆

自分たちで育て、収穫したお米を食べました。お米を植えることから、人の口に運ばれるまでの過程などを知ることで今まで食べてきたお米とは違った味の楽しみ方ができたと思います。また、ご飯がおいしくなるおかずも皆で作り、おいしくいただきました！



お米に合うおかずを皆で作りました。



## ESS部が「舞鶴引き揚げ」を世界に発信！（10/15）

～ユネスコ世界記憶遺産登録1周年記念フォーラムにて～

舞鶴引揚記念館所蔵のシベリア抑留と引き揚げ関連資料が、ユネスコ世界記憶遺産に登録されて1年がたち、1周年記念フォーラムが開催されました。この式典で、ESS部員が英語で、紙芝居「シベリアからやってきたクロ」を発表しました。この様子はインターネットを通して、世界に発信されました。

日本語版「シベリアからやってきたクロ」などが収められたDVDを舞鶴市に寄贈しました。



## トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム高校生コース募集

政府と民間企業による官民協働海外留学支援制度です。意欲と能力ある全ての日本の若者が、海外留学に自ら一步を踏み出す気運を醸成することを目的としています。生徒が主体的に作成した計画又は生徒の留学に対する目的や考えが含まれた計画で、学校教育活動の一環と認める留学計画に対し、奨学金等を支援する制度です。

○応募締切：平成29年2月3日（金）

○応募資格：日本国籍を有する生徒等又は日本への永住が許可されている生徒 等詳細は、

<http://www.tobitate.mext.go.jp/hs/index.html>

または、**トビタテ留学 高校生** で検索

質問等あれば、12月16日（金）までに、国際教育部（野田）のところまで！留学関連資料もあります。早い目に気軽に相談しに来てくださいね！

## ☆留学インタビュー☆ ～英国スコットランド～

2年3組和田真佐希くん  
(白糸中出身)

Q 留学を決めた理由は何ですか？

A 姉も同じ留学を体験し、人柄が柔らかくなって帰ってきたのを見て、自分も何かかわれるきっかけになったらと思い決めました。

Q 行って良かった点はなんですか？

A 留学し、自分から話さないと行けない場面が多くありました。僕はいつもシャイで上手く人と話すことができなかったのですが、この留学で鍛えられて日本に帰ってから人と話せるようになり、自分の関わる世界や視野が広がりました。

東高生へ一言

A 自分の何かを変えたい人は一度留学をしてみてください。

## Namaste ～ネパールからの手紙～

今年度、青年海外協力隊員としてネパールでボランティア活動をされている英語科吉積勇人先生からのメッセージをお届けします。

今月はネパールのカースト制度についてご紹介したいと思います。カースト制度とは、生まれながらにして身分が決まっており、階級によって職業や権利が異なる制度のことを言います。大きく4階級あり、上からバフン(司祭階級) チェットリ(武士階級) 労働者階級(グルン ネットール タパ シェルパ タマン マガル タカリ その他多数) スードラ(奴隷階級) となります。本来インドから入ってきた文化で、インドのカースト制度と少し呼び名が異なる部分はありますが、システムとしては、インドのものと同様です。ハイカーストと呼ばれるバフン チェットリは教師や政治家、医者等社会的に高位に立つ仕事に就くことができます。労働者階級が一番多く、すべての民族で言葉も異なり、彼らの多くは農業に従事することが多いです。私の勤めている学校の生徒は95%がタマン族です。また山岳民族として知られるシェルパは、ヒマラヤ登山のポーターとして活躍することが有名です。スードラの家に生まれると、お金持ちの家の召使や給仕として働くことになります。様々な難しい規則があるのですが、一例として低位カーストの人が高位カーストの人と結婚することは許されないという厳しいルールがあります。一見日本人には到底理解もできないし、理不尽な制度のように思えますが、良い側面もあります。上位カーストであるバフン チェットリの人たちの中には、低位カーストの人の面倒を見なければいけないという意識があります。上位カーストは低位カーストのために、雇用を生み出し、低位カーストは仕事をすることで、上位カーストに貢献するという役割を果たすことで社会が回っているようです。勿論近代化に伴い、例外が多く発生してきており、カーストを飛び越えて結婚したり、労働階級者でも近代的な生活をしている人もいます。しかし、今でも多民族国家として、民族を飛び越え互いに協力しながら生活するネパール人の姿を見て、日本には無い感覚だなあと感じています。今回紹介したのはカースト制度の氷山の一角なので、興味のある方は勉強してみてください。又は質問を頂ければ、お答えしたいと思います。最後にヒマラヤの写真を掲載しておきます。私が見たのは7000m峰でしたが、ネパールには8000mを超える山がたくさんあります。ヒマラヤのスケールは圧巻で、言葉を失うほど美しく、眩しかったです。では、ラッソ！（タマン語でナマステ）

